

「明日の京都」 数値目標

< 「明日の京都」 数値目標・目次 >

【はじめに】	・・・・・・・・	95頁
【府民安心の再構築】	・・・・・・・・	96頁
【地域共生の実現】	・・・・・・・・	116頁
【京都力の発揮】	・・・・・・・・	122頁

【はじめに】

1 「『明日の京都』数値目標」の位置付け

「明日の京都」でめざす社会の実現に向けて、長期ビジョンに示した大きな方向性を確認し、中期計画に掲げた「基本目標」を具体的な事実として把握するために適切な指標を選定し、選定した指標に関して、できる限り目標とする「水準」を明示するものです。

2 指標の選定

指標については、経費や人員等の「投入量（インプット）」ではなく、できる限り「成果（アウトカム）」（やむを得ない場合には「産出量（アウトプット）」）に焦点を置いて選定しています。

3 目標とする「水準」の設定

選定した指標に係る目標とすべき「水準」の設定方法等については、現在のところ、海外事例を含めても確立された考え方等がないことから、過去の傾向や直近の数値（基準値）の状況をもとに、①全国一をめざすもの、②全国トップクラスをめざすもの、③全国平均以上（以下）をめざすもの、④過去最高（最低）をめざすもの、⑤基準値をもとにこれまで以上の伸びをめざすもの（ストレッチゴール）、⑥増加・減少等の方向のみを示すもの、⑦その他独自の水準を設定するもの等に区分し、それぞれについてできる限り挑戦的で高い目標を設定しています。

選定した指標のうち、目標とすべき「水準」を数値で示すことができるものについては、できる限り「数値目標」という形で表記しています。

これら、「数値目標」の設定は、施策の予算等に直接影響を及ぼすにもかかわらず、複数の目標間の優先順位付けや費用対効果についての議論に必要な情報を提供できないこと、さらには、数値目標の達成にとらわれ過ぎると、新たな緊急課題への対応など、社会・経済情勢に応じた柔軟で機動的な施策運営の支障となる恐れもあることから、今後、その設定手法や予算議論等との連動の方法等について、さらに研究・検討を進めていくこととします。

4 指標の管理

目標の達成状況を確認するために活用する指標については、これを固定したものとせず、継続して研究開発や府民意見の反映に努め、府民にとってわかりやすく、また、府政の成果をよりの確に表す指標（群）となるよう、常に改善・進化を図っていくこととします。